

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議

e-oncologia 子宮頸がん予防コース

子宮頸がん予防に関する国際オンラインプログラム

最新の子宮頸がんに関する情報を無償で学べる、「子宮頸がん予防のためのイーラーニング」 オンライン上のコミュニティで、指導医との意見交換も可能

子宮頸がんは、全世界において女性が罹患するがんのうち2番目に多く、開発途上国においては最も重要といわれているがんです。子宮頸がんは予防が可能であり、また早期に診断治療が開始されることで治癒が可能となるがんです。しかし、予防や診断治療が遅れると、治癒が難しく、若い女性の主要な死因のひとつとなっています。

子宮頸がんは毎年、世界中で約50万人の女性が罹患し、うち25万人以上の命を奪っています。子宮頸がん予防において、HPVワクチンや(子宮頸がん検診における)HPV検査の登場は画期的なことでした。全世界の女性を対象としたHPVワクチンの導入には、多くの医療関係者や行政関係者がその価値や必要性を十分に理解しておくことが必要です。また、HPVワクチンについての科学的に正確な情報も必要です。そして、多様な文化、宗教、信仰、言語を持つ人々に十分かつ正確な説明を必要としています。

そのための教育として考えられたのが「子宮頸がん予防コース」です。この「子宮頸がん予防コース」は、どなたでも無償で受講でき、時間の制約や言語の壁を越えて世界中の受講者に多くの知識を提供できるように設計された、子宮頸がん予防を推進する専門教育です。



【コース対象者】

○子宮頸がんの予防にかかわる医療関係者 ○公衆衛生専門家、ヘルスプランナー、ヘルスプログラムマネージャーなどの研究者や教育者 ○専門看護師や助産師 など

【期間および評価】

4週間、15時間の学習で終了。コース終了時に選択肢型設問30問による評価が行われ、70%以上の正解で認定証を獲得できます。試験合格者にはFIGO(国際産婦人科連合)の単位と認定書が発行されます

【申込方法】

①お名前(ふりがな、英語表記)、②職業、③所属、④住所、⑤電話番号、⑥Eメールアドレス を事務局のEメール宛に「E-oncologia 日本語版受講申込み」としてお申込みください。

【お問合せ/お申込み】 e-oncologia 事務局

E-mail e-oncologia@cczeropro.jp 9:00~17:00 (定休:土・日・祝日)

推奨の言葉

e-oncologia (子宮頸がん予防 オンラインコース) イーラーニング受講のお薦め

2019年7月

子宮頸がん征圧をめざす専門家会議議長

日本婦人科腫瘍学会名誉会長

野田起一郎

子宮頸がんは、ワクチンによる一次予防と検診による二次予防の組み合わせによって、ほぼ完全に予防することができる時代になりました。私たち（子宮頸がん征圧をめざす専門家会議）が掲げた子宮頸がんの elimination(征圧・撲滅)は、2008年 WHO（世界保健機関）の Director-General から全世界の現実的な活動目標として呼びかけられています。

(<https://www.who.int/cancer/cervical-cancer/cervical-cancer-elimination-strategy>)

世界的な HPV 研究の権威である F. Xavier Bosch 教授（スペイン・カタロニアがん研究所）と数々の共同プロジェクトを行ってきたわが国のリーダー今野良教授の合意のもと、「世界中の医療関係者や行政関係者がその価値や必要性を十分に理解すること、様々な文化、信仰、言語をもつ多くのコミュニティに、科学的に正確で適切な説明を行うこと」を目的に設計された e-oncologia の日本語版の準備が行われてきました。

膨大な翻訳業務とオンライン構築・調整の末に、日本語での利用が可能になった e-oncologia（日本語版）「子宮頸がん予防コース」の受講を強く皆様に推奨します。

子宮頸がんの HPV 検査や HPV ワクチンは、国内でも承認はされたものの、いずれも不十分な社会的理解の結果、いまだに国の施策として確立されたとは言い難い状況です。とくに、日本における HPV ワクチンへの反対論の多くが、科学的根拠を無視しており、WHO などの世界的保健機関やアカデミア・学会等から厳しく批判されています。HPV ワクチンの功罪を誤解した「日本の常識は世界の非常識」となり、この国際化が進んだ情報社会の中で、科学的に孤立している状況は情けなさを超えて、悲しさを覚えます。これも、考えてみれば、日本国内における教育・啓発不足、適切な情報提供の機会が少なかったからだといえるのかもしれない。

e-oncologia は、以下のような世界的視座からの多岐事項が含まれ、日本でこれほどの好個の教科書・参考書は見当たりません。

- ・ HPV と子宮頸がんの自然史
- ・ HPV 感染と HPV 関連疾患の負担

- ・ HPV とその他の疾患
- ・ 子宮頸がんの制御と予防
- ・ 一次予防： HPV ワクチン
- ・ 一次予防：男性のコンドーム使用と割礼
- ・ 現在の子宮頸がん検診の選択肢
- ・ 子宮頸がん予防戦略
- ・ 健康教育とカウンセリング
- ・ 特別集団における HPV

この素晴らしいイーラーニングは、どなたでも無償で受講でき、終了後、最終テストで合格すると産婦人科学会の世界組織 FIGO（国際産婦人科連合）から荣誉ある認定書 (certification)を受け取ることができます。

本イーラーニングが皆様に貢献し、今後のわが国における子宮頸がん予防に真に寄与することを期待しています。



This is to certify that



Name _____

Has successfully participated in the
CERVICAL CANCER PREVENTION COURSE
offered by **e-oncología** and **FIGO**

Grade: _____ %

The content, quality and educational value of this e-course have been reviewed by the Accreditation Council of Oncology in Europe (ACOE, www.acoe.be) in support of Continuing Medical Education for physicians.

CME Code: CME-0857

ACOE awarded 15 CME credits to this activity.

These credits are also recognised as Physician's Recognition Award (AMA PRA Category 1 credits) by the American Medical Association.

Physicians should only claim credit measurable to the extent of their participation in the activity.

Pr. Luis Cabero
Chair of the FIGO CBETC

Pr. Lynette Denny
Chair of the FIGO Committee for
Gynecologic Oncology

Dr. F. Xavier Bosch
Chief of the Cancer Epidemiology Research Program (CERP)
Chief of e-oncología
Catalan Institute of Oncology

Date of issue: _____

